

## 音楽文化振興事業(住友生命いずみホール事業)

### 〔実施事業(式典等の貸館を除く)〕

1. 主催公演は25公演、入場者数13,614名。共催公演、貸館も含む総公演数は188公演となり、年間の入場者総数は90,043名となりました。2020年1月からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて貸館公演の中止・延期が相次ぎ、3月は全ての主催公演も開催を見送ったことから公演数は計画を下回りました。また、平均入場者数は、新型コロナウイルス、10月の台風19号の影響もあり、主催公演は545名、全体527名とそれぞれ前年度(603名、543名)を下回りました。

|                 | 2019年度 ( )は2018年度 |                 | オープン以来 |           |
|-----------------|-------------------|-----------------|--------|-----------|
|                 | 公演数               | 入場者数            | 公演数    | 入場者数      |
| 主催公演            | 22 (22)           | 12,485 (12,727) | 1,123  | 662,276   |
| 主催公演(人材養成事業)    | 3 (4)             | 1,129 (159)     |        |           |
| 共催公演            | 11 (10)           | 6,319 (5,364)   |        |           |
| 貸館(一般公演)        | 135 (97)          | 70,110 (51,422) | 5,752  | 3,157,451 |
| 貸館(レコーディング、式典等) | 17 (9)            |                 |        |           |
| 合計              | 188(142)          | 90,043 (69,672) | 6,875  | 3,819,727 |

(注)貸館(一般公演)には受託公演を含む。中止公演は公演数に含めていない。

オープン以来累計には休館中等の社外会場実施分は含めていない。

2. 前年度から3年間にわたってルネサンスからバロックに至る時代の音楽を紹介する「古楽最前線2018-2020 躍動するバロック」シリーズは4公演を予定しておりましたが、3月の公演は中止となりました。10月に「メサイア」と「ピエール・アンタイ」の公演を開催。「メサイア」についてはほぼ完売となっておりますが、台風19号の影響によりご来場いただけなかった186名のお客様に払い戻しの対応をさせていただきました。12月に開催したオペラ「ピグマリオン」については、朝日、読売、日経など新聞各紙に批評が掲載されるなど関心を集めました。特に日経夕刊全国版でのクラシック音楽「今年の収穫」に選ばれるなど、高い評価をいただきました。
3. ホールのレジデント・オーケストラであるいずみシンフォニエッタ大阪は7月と2月に定期演奏会を開催しました。また、1月開催の「Music Supplement(村治佳織)」は完売となるなど、バラエティに富むラインアップで多様なクラシック音楽ファンのニーズに応えました。  
「ランチタイム・コンサート」は引き続き好評を博しています。  
また、若年層ファンの育成・獲得に向けた取組であるユースシートも継続しております。  
Osaka Shion Wind Orchestraと提携した小学校(幼稚園保育所)合同鑑賞会では大阪市の小学生等4,177名がホールを訪れました。
4. 初めての平日午後の企画である「午後の特等席」を4月、11月の2公演を開催しました。特に11月はホテルニューオータニ大阪と提携したランチセットプランが好評を得ると共に高齢者施設への券売が100枚を超え、手応えが得られました。
5. 人材養成事業として、8月30日、31日に「オルガンの未来へ～次の世代を育成するために～」と銘打ち、日本オルガニスト協会と共催で「アルフィート・ガスト オルガン・マスタークラス」、「いずみ子どもカレッジ」(招待公演)、「関西出身若手オルガニストによるガラ・コンサート」を開催しました。「いずみ子どもカレッジ」ではお子様と保護者の方々481名にご来場いただきました。
6. 普及事業として、9月には第17回目の「いずみホール夢コンサート」(招待公演)を開催し、障がいのある方とサポートされる方々616名にご来場いただきました。11月には1コイン(500円)で楽しめる「西村朗の音楽講座X」を開催し615名に来場いただきました。

7. 貸館公演では、特に6月29日にはG20大阪サミットに合わせて「ロシアにおける日本年・日本におけるロシア年」の閉会式が開催され(主催;外務省)、安倍総理大臣とプーチン大統領がご来館されました。
8. 公的助成としては、文化庁(日本芸術文化振興会)、大阪市の他、大阪府より初めての助成を得ることができました。  
民間助成としては、花王・芸術科学財団、野村財団、三菱UFJ信託芸術文化財団より助成が得られた他、前年度に実施したオペラ「ポッペアの戴冠」が三菱UFJ信託音楽賞・奨励賞を得て、賞金をいただきました。
9. 本年4月1日にホール名が「住友生命いずみホール」に改称されることが、10月18日に住友生命と財団連名で発表されました。開館30周年、財団設立60周年を迎える年にホールの新しい歴史を作るきっかけとして、更に多くの皆さまに親しまれるよう取り組んでまいります。

全主催公演は次の内容です(公演日、標題、演奏者、主な演奏曲名、入場者数を記載)。

【古楽最前線—躍動するバロック 2019 脈打つ人の心—中後期バロックまで(全4公演)】

|              |   |          |
|--------------|---|----------|
| 10/12<br>(金) | Vol.1《メサイア》<br>出演/ウィリアム・クリスティ(指揮、音楽監督)、レザール・フロリサン<br>エマニュエレ・デ・ネグリ、キャスリーン・ワトソン(ソプラノ)<br>ティム・ミード(アルト=カウンターテナー)<br>ジェームズ・ウェイ(テノール)、パドライク・ローワン(バス)<br>曲目/ヘンデル:オラトリオ《メサイア》 HWV56   | 514      |
| 10/24<br>(木) | Vol.2 ピエール・アンタイ チェンバロ・リサイタル<br>出演/ピエール・アンタイ(チェンバロ)<br>曲目/ラモー:《クラヴサン小曲集》より アルマンド、クーラント、内気、<br>三つの手、サラバンド、懐中時計、ジークとロンド<br>スカルラッティ:《5つのソナタ》<br>ヘンデル:“ボートンハウスの自筆譜”より 組曲 ニ短調 ほか  | 357      |
| 12/14<br>(土) | Vol.3 オペラ・バレの歴史&ラモー:《ピグマリオン》<br>出演/寺神戸亮(バロックヴァイオリン、公演プロデューサー)、<br>岩田達宗(演出)、小尻健太(振付)、松本更紗(バロックダンス)<br>酒井はな、中川 賢(モダンダンス)<br>ピグマリオン:櫻田 亮(テノール)、セフィーズ:波多野睦美(ソプラノ)<br>彫像:佐藤裕希恵(ソプラノ)、アムール:鈴木美紀子(ソプラノ)<br>レ・ボレアード(管弦楽)、合唱<br>曲目/リュリ:《アティス》《町人貴族》《アルミード》より 舞踏音楽<br>ラモー:オペラ《ピグマリオン》 | 510      |
| 3/11<br>(水)  | Vol.4 ヴィヴァルディ:《四季》<br>出演/アマンディーヌ・ベイエ (ヴァイオリン)、リ・インコーニティ<br>曲目/ヴィヴァルディ:歌劇『オリンピアード』より<br>シンフォニア ハ長調 RV725<br>チェロ協奏曲 イ短調 RV421<br>ヴァイオリンとオルガンのための協奏曲 ト短調 RV517<br>ヴァイオリン協奏曲集《四季》op.8   | 公演<br>中止 |

【新・音楽の未来への旅シリーズ】

|            |   |     |
|------------|---|-----|
| 7/6<br>(土) | いずみシンフォニエッタ大阪 第42回定期演奏会「祈りの靈感」<br>出演／三ツ橋敬子(指揮)、篠崎和子(ハープ)<br>曲目／トゥリーナ:「闘牛士の祈り」op.34<br>ストラヴィンスキー:プルチネルラ組曲<br>藪田翔一:ハープ協奏曲「祈りの樹」(委嘱新作)<br>ラヴェル/マイケル・ラウンド:クープランの墓 | 347 |
| 2/8<br>(土) | いずみシンフォニエッタ大阪 第43回定期演奏会「大地の歌」<br>出演／飯森範親(指揮)、望月哲也(テノール)、大西宇宙(バリトン)<br>曲目／中村滋延:《善と悪の果てしなき闘い 第一章》<br>マーラー(川島素晴編):《大地の歌》   | 454 |

【バッハ・オルガン作品全曲演奏会 アンコール企画】

|             |   |     |
|-------------|---|-----|
| 8/29<br>(木) | Vol.1 出演／アルフィート・ガスト(パイプオルガン)<br>曲目／J.S.バッハ:《クラヴィーア練習曲集 第3部》より<br>プレリュード 変ホ長調 BWV552/1<br>キリエ、とこしえの父なる神よ BWV669<br>キリストよ、世の人のすべての慰め BWV670<br>キリエ、聖霊なる神よ BWV671<br>いと高きところでは神にのみ栄光あれ BWV675~677<br>フーガ BWV552/2<br>西村 朗:オルガンのための前奏曲「焰の幻影」(1996)<br>R.シューマン:ペダル・ピアノのための6つの練習曲<br>“カノン形式の作品”op.56より<br>M.レーガー:B-A-C-Hの名による幻想曲とフーガ op.46  | 552 |
| 2/22<br>(土) | Vol.2 出演／小糸 恵(パイプオルガン)<br>曲目／J.S.バッハ:プレリュードとフーガ ハ長調 BWV545<br>〈いざ来ませ、異邦人の救い主〉BWV659<br>〈われらが神は堅き砦〉BWV720<br>〈心よりわれこがれ望む〉BWV727<br>〈われはいずこにか逃れゆくべき〉BWV646<br>〈来ませ、創り主なる聖霊の神よ〉BWV667<br>トリオ ト短調 BWV584<br>プレリュードとフーガ ト短調 BWV535<br>〈おお人よ、汝の大いなる罪を嘆け〉BWV622<br>プレリュード ハ短調 BWV546/1<br>オブリガート・チェンバロとヴァイオリンのための6つのソナタ<br>第3番 BWV1016より 第1楽章 Adagio(小糸恵編)<br>〈バビロンの流れのほとりに〉BWV653<br>トッカータとフーガ ニ短調 BWV538「ドリア調」 | 620 |

【午後の特等席】

|              |   |     |
|--------------|---|-----|
| 4/19<br>(金)  | Vol.1 出演／中嶋彰子 (ソプラノ)<br>曲目／パイジェッロ:いとしい人が来るとき<br>ヘンデル:オンブラ・マイ・フ<br>シューマン:アラベスク op.18《女の愛と生涯》op.42<br>ドヴォルザーク:ジプシーの歌 op.55、《ルサルカ》より月に寄せる唄<br>ほか                                     | 405 |
| 11/21<br>(木) | Vol.2 出演／松田理奈(ヴァイオリン)、清水和音(ピアノ)<br>曲目／モーツァルト:ヴァイオリン・ソナタ 第33番 へ長調 K.377<br>ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 op.100<br>ラヴェル:ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 M.12《遺作》<br>ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 M.77<br>ツィガーマ | 461 |

【新・ランチタイム・コンサート (企画・構成、お話:岡田暁生)】

|              |   |          |
|--------------|---|----------|
| 6/10<br>(月)  | Vol.5 出演／小谷口直子(クラリネット)<br>曲目／モーツァルト:歌劇《魔笛》より「なんと美しい絵姿」<br>ウェーバー:歌劇《魔弾の射手》より「静かに、静かに、敬虔なる旋律よ」<br>プッチーニ:歌劇《トスカ》より「星は光りぬ」 ほか   | 697      |
| 9/18<br>(水)  | Vol.6 出演／鈴木大介(ギター)<br>曲目／スカルラッチィ:ソナタ イ長調 K.208, K.209<br>シューベルト/メルツ編:セレナーデ(白鳥の歌より)<br>アルベニス:椰子の木陰(スペインの歌 op.232より)<br>バリオス:森に夢見る<br>モリコーネ:ニュー・シネマ・パラダイス<br>ドビュッシー:月の光<br>ジョービン:イパネマの娘<br>武満 徹:燃える秋<br>ピアソラ:リベルタンゴ | 609      |
| 12/18<br>(水) | Vol.7 出演／フィリップ・ストレンジ(ジャズ・ピアノ)<br>曲目／ウィンター・ワンダーランド<br>きよしこの夜<br>テイク・ファイブ<br>枯葉 ほか  | 730      |
| 3/30<br>(月)  | Vol.8 出演／松田昌恵(ソプラノ)、小坂圭太(ピアノ)<br>曲目／滝廉太郎:花<br>成田為三:かなりや<br>山田耕筰:この道 ほか  | 公演<br>中止 |

【その他公演】

|              |  |     |
|--------------|--|-----|
| 5/10<br>(金)  | IZUMI JAZZ NIGHT 2019<br>出演/小曾根真(ピアノ)  | 696 |
| 8/8<br>(木)   | Summer Vacation Concert「ロザンと一緒に音楽で世界旅行 2019」<br>出演/成田達輝(ヴァイオリン)、上村文乃(チェロ)、萩原麻未(ピアノ)<br>ロザン(司会)<br>曲目/J.シュトラウスⅡ:美しく青きドナウ<br>J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第3番より プレリユード<br>イザイ:田舎の踊り(無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第5番 第2楽章)<br>シベリウス:水滴<br>グリーク:トロールハウゲンの婚礼の日<br>サン=サーンス: 白鳥<br>ポッパー:妖精の踊り<br>ドヴォルザーク: ピアノ三重奏曲 第4番《ドゥムキー》  | 486 |
| 9/6<br>(金)   | 小菅 優(ピアノ)リサイタル Four Elements Vol.3 風<br>出演/小菅 優(ピアノ)<br>曲目/ダカン:クラヴサン曲集 第1巻 第3組曲 から「かつこう」<br>第1組曲 から「荒れ狂う風」<br>クープラン:クラヴサン曲集 第3巻 第17組曲 ホ短調「小さな風車」<br>ラモー:クラヴサン曲集と運指法 第1番(第2組曲)から「鳥のさえずり」<br>西村 朗:迦陵頻伽(カラヴィンカ)<br>ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第17番 ニ短調 op.31-2「テンペスト」<br>フローラン・シュミット:薄暮 op.56 から「シルフィード」<br>ドビュッシー:前奏曲集 第1巻 から「帆」、「野を渡る風」<br>「夕べの大気に漂う音と香り」<br>「西風の見たもの」、「沈める寺」<br>前奏曲集 第2巻 から「霧」<br>ヤナーチェク:霧の中で | 384 |
| 10/4<br>(金)  | ハーゲン弦楽四重奏団<br>出演/ハーゲン弦楽四重奏団<br>曲目/ハイドン:弦楽四重奏曲 第77番「皇帝」op.76-3<br>バルトーク:弦楽四重奏曲 第3番<br>シューベルト:弦楽四重奏曲 第13番「ロザムンデ」D.804, op. 29  | 538 |
| 11/9<br>(土)  | サー・アンドラーシュ・シフ&カペラ・アンドレア・バルカ<br>ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会①<br>出演/サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ)、カペラ・アンドレア・バルカ<br>曲目/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 op.19<br>第3番 ハ短調 op.37<br>第4番 ト長調 op.58   | 756 |
| 11/10<br>(日) | サー・アンドラーシュ・シフ&カペラ・アンドレア・バルカ<br>ベートーヴェン・ピアノ協奏曲全曲演奏会②<br>出演/サー・アンドラーシュ・シフ(ピアノ)、カペラ・アンドレア・バルカ<br>曲目/ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 op.15<br>第5番 変ホ長調 op.73《皇帝》  | 704 |

|             |  |          |
|-------------|--|----------|
| 1/9<br>(木)  | <p>ニューイヤー・コンサート 2020<br/>         出演／ウィーン・リング・アンサンブル<br/>         曲目／J.シュトラウスⅡ:オペレッタ「ジプシー男爵」序曲<br/>         ヨーゼフ・シュトラウス:ワルツ「うわごと」<br/>         J.シュトラウスⅠ:ジプシー・ギャロップ<br/>         J.シュトラウスⅡ:エジプト行進曲<br/>         ツィーラー:ワルツ「ウィーン娘」<br/>         ヨーゼフ・シュトラウス:ジョッキークー・ポルカ<br/>         ベートーヴェン・メドレー(生誕 250 年記念) ほか</p> | 672      |
| 1/31<br>(金) | <p>Music Supplement Vol.13<br/>         出演／村治佳織(ギター)</p>   | 765      |
| 3/26<br>(木) | <p>シネマヒットパレード<br/>         出演／横山奏(指揮)、岡部まり(ナビゲーター)<br/>         大阪交響楽団<br/>         曲目／男はつらいよ<br/>         エデンの東<br/>         太陽がいっぱい<br/>         ゴッドファーザー愛のテーマ ほか</p>  | 公演<br>延期 |

【普及事業】

|              |   |     |
|--------------|---|-----|
| 9/10<br>(火)  | <p>いずみホール夢コンサート2019<br/>         出演／藤岡幸夫(指揮)、<br/>         北野加織(ソプラノ)、チョン・キヒョン(テノール)、都築由美(司会)<br/>         関西フィルハーモニー管弦楽団</p>   | 616 |
| 11/27<br>(水) | <p>西村 朗の音楽講座Ⅹ「バロック讃～ポリフォニーの至芸」<br/>         出演／西村 朗(お話)、高木和弘(ヴァイオリン)、佐藤一紀(ヴァイオリン)<br/>         馬淵昌子(ヴィオラ)、丸山泰雄(チェロ)、碓山典子(ピアノ)<br/>         曲目／ラヴェル: 古風なメヌエット<br/>         J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番ト短調 BWV1001 より<br/>         第1曲 アダージョ、第2曲 フーガ<br/>         無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第4番 ニ長調 より<br/>         ジーグ BWV828-7<br/>         無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第5番 ト長調 より<br/>         ジーグ BWV829-7<br/>         《音楽の捧げ物》BWV1079より カノン No.3,6,7<br/>         2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調 BWV1043より第1楽章<br/>         《フーガの技法》BWV1080より「未完フーガ」<br/>         ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 op.59-3<br/>         「ラズモフスキー第3番」より 終楽章のフーガ</p> | 615 |

【人材養成事業】

|                     |   |            |
|---------------------|---|------------|
| <p>8/30<br/>(金)</p> | <p>オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」<br/>マスタークラス<br/>講師／アルフィート・ガスト(受講生は4名)<br/>内容／基調講演(ガスト/通訳:松居直美)<br/>「ドイツロマン派における演奏実践の考え方の変遷と、今日の演奏解釈について」<br/>マスタークラス(ガスト/通訳:土橋 薫)<br/>メンデルスゾーン、シューマン、ブラームス、リストなどドイツロマン派を中心に</p>  | <p>119</p> |
| <p>8/31<br/>(土)</p> | <p>オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」<br/>いずみ子どもカレッジ2019 楽器の王さまパイプオルガン<br/>出演／桑山彩子、長田真実、三上郁代、北村あゆ美、富田一樹<br/>プログラム／J.S.バッハ :小フーガ ト短調 BWV578 ほか</p>  | <p>529</p> |
| <p>8/31<br/>(土)</p> | <p>オルガンフェスティバル「オルガンの未来へ」<br/>関西出身若手オルガニストによるガラ・コンサート<br/>出演／桑山彩子、長田真実、三上郁代、北村あゆ美、富田一樹<br/>曲目／C.フランク:オルガンのための3つのコラール 第1番 ホ長調 M.38<br/>J.S.バッハ : 平均律曲集 第2巻より 前奏曲 二長調 BWV 874<br/>M.レーガー:楽興の時 op.69-4<br/>F.メンデルスゾーン:前奏曲とフーガ op.35-6(編曲:C.ボッサート)<br/>N.グリニー:讃歌「めでたし海の星」<br/>C.トゥルヌミール:「復活のいけにえに」によるコラール即興曲<br/>T.エスケシュ:エヴォカシオンⅡ<br/>C.ニールセン:コモータイオ op.58<br/>J.S.バッハ:前奏曲 ハ長調 BWV547/1<br/>われ汝を呼ばわる、主イエス・キリストよ BWV639<br/>われいずこに逃れ行かん BWV646<br/>フーガ ハ長調 BWV547/2</p> | <p>476</p> |